



愛腎協 かわらばん

患者の、患者による、患者のための愛腎協

第232号 編集：(一社)愛知県腎臓病協議会事務局 発行：令和7年1月10日

謹賀新年

令和7年の初春を迎え、愛腎協代議員様、会員様の
ますますのご多幸をお祈り申し上げます

名古屋市へ陳情書・署名用紙を提出しました

♥陳情署名数：3,755枚、16,012筆

2024年12月12日(木)午前10時～11時まで、名古屋市役所本庁舎2Fにある健康福祉局会議室でNPO法人名古屋市腎友会と(一社)愛知県腎臓病協議会の代表者が、名古屋市へ市内の透析患者から集めた陳情書と署名用紙を手渡すと共に、6つの陳情項目について健康福祉局の山田隆行局長をはじめ9人の担当職員と意見交換を行ないました。

加藤一登名古屋市会議員の挨拶に続いて鈴木則子名古屋市腎友会会長が挨拶を行った後、参加者の自己紹介を終え、山田隆行名古屋市健康福祉局局長が挨拶し、その後、6項目の陳情内容についての説明と回答が行なわれました。

名古屋市からは、自立支援医療(更生医療)、重度心身障害(児)者医療費助成制度の給付継続。外出時のご自宅からタクシー等での送迎利用については最寄りの区役所・支所または基幹相談支援センター等で要ご相談。タクシー券とガソリン券の選択並びにスマホアプリ利用化については課題検討。透析患者への災害支援については名古屋市地域防災計画準拠、大規模災害発生時には愛知県、自衛隊、さらにDMATという医療支援関係機関と連携して、被害のない地域への移送。透析患者の医療型特別養護老人施設増設、医療療養病床(療養型病院)・介護医療院での入居しやすい環境づくりに配慮。透析患者のコロナ感染対策についてはリスクに応じて再検討等の回答が得られました。ともあれ、困りごとがあれば相談願いたいとのことでした。



▲名古屋市健康福祉局の山田隆行局長(右)へ陳情署名を手渡す名古屋市腎友会の鈴木則子会長と愛腎協の安田会長(左2人)。紹介者の名古屋市議会の加藤一登議員



▲名古屋市への陳情項目における意見交換会の様子

みずのクリニック講演会で愛腎協は「患者会を創ろう」を提案要請

2024年12月1日(日)午前10時、医療法人豊水会・みずのクリニックで患者を対象とした講演会が開催されました。第1部は水野雅夫理事長(院長)による「なが～い透析時間で、元気に長生き」の演題での講演、第2部は後藤竜也事務長が「大地震に備えて～大規模災害時の対応について」と題し、災害時でのみずのクリニックから患者への対応について説明がなされました。第3部として愛腎協の安田会長から「みずのクリニック患者会を創ろう!」のテーマで提案が行なわれ、当日は約30人の透析患者が参加して有意義な内容のイベントとなりました。



▲みずのクリニック講演会の様子

大雄会第一病院で患者会及び愛腎協による講演会開催

2024年12月15日(日)午前10時から大雄会第一病院で患者会主催の講演会が開催されました。第1部の講演会は大雄会病院泌尿器科医長の前川由佳先生が講師となって「血液検査の見方」と題し、血中のカルシウム・リン・カリウム・副甲状腺ホルモン・尿素窒素・クレアチニン等の数値と内容について詳しく説明され、透析患者にとってとても有意義な講演となりました。

続いて、愛腎協の安田会長から「愛腎協の成り立ち」、「患者会について話題提供」されました。コロナ禍で休会していた大雄会第一病院患者会が再び活動を再開し、盛り上げていこうと開催された講演会なので愛腎協としても積極的に支援して行くつもりです。



▲講演をする前川由佳先生



▲大雄会第一病院での患者会活動再開へ向けた講演会の様子

活動予定

- 1月19日(日) 第3回尾張本部会議 (布袋ふれあい会館 10時～正午)
- 1月19日(日) 第3回西三河本部会議 (安城市総合福祉センター 10時～正午)
- 1月26日(日) 代議員交流会 (愛知県白壁庁舎5階県会議室 11時～15時)
- 2月2日(日) 災害対策講演会 (名古屋市都市センター 14時～16時)
- 2月2日(日) 第3回知多支部会議 (半田市福祉センター 13時～15時30分)
- 2月9日(日) 第4回青年部会議 (名古屋市市政資料館 10時～正午)
- 2月15日(土) 東海ブロック会議 (名古屋都市センター第4会議室 10時～15時)
- 2月16日(日) 第3回名古屋本部会議 (名古屋都市センター 10時～)
- 2月16日(日) 第4回女性部会議 (名古屋都市センター 13時30分～)
- 2月16日(日) 第4回広報委員会 (愛知県白壁庁舎5階県会議室 14時～16時)
- 2月23日(日) 尾張本部勉強会 (小牧市まなび創造館 10時～)
- 2月23日(日) 第3回東尾張本部会議 (春日井市総合福祉センター 10時～正午)